

2021 年度(令和3年度)学校評価自己評価表

一ツ橋中学校区	校番 25	福山市立一ツ橋中学校
最終更新日	2021年(令和3年)4月1日	

I 福山市

ミッション	福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
ビジョン	「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容	児童生徒の現状	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	「学びに向かう力」「課題発見・解決力」「対話する力」「自己・他者理解力」「自己効力感」
めざす子ども像の実現に向け、授業改善が進んでいる。コロナ禍で活動の制限はあるが、子どもたちが生き生きと学ぶ姿が見られ、今後、更に活動を工夫して地域とのつながりを継続してする取組を期待する。	授業改善により、児童生徒が自ら学ぼうとする意欲の向上が見られ、授業満足度は向上傾向にある。中1ギャップは解消に向けて、乗り入れ授業等取り組んでいる。しかし小学校で不登校傾向の児童が中学校で不登校状態にあり、指導に苦慮している。	めざす子ども像 (義務教育修了時の姿)	自己を認識し、自分の人生を選択し、表現することができる力を身に付けている。
		中学校区として統一した取組等	小中合同の「自ら考え学ぶ授業」を実践するための研究授業を通して、全ての児童生徒が主体的に学ぶことができる学校をめざす。 探究的な学習の充実に向け、小中で連携して、PBL(プロジェクト型学習)の考え方を参考に、生活科及び総合的な学習の時間の単元を開発・実践する。

III 自校

ミッション	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	学びに向かう力	課題発見・解決力	対話する力	
燃えたぎる一ツ橋中魂(心に太陽・情熱と躍動)で、大地を踏まえ大空に向かって羽ばたく人間の育成	めざす子ども像	中期	<ul style="list-style-type: none"> <li>学ぶことに興味や関心を持ち、見通しをもって、粘り強く取り組もうとしている。</li> <li>自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かそうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら問いを見だし、課題の追究、課題の解決をよりよい方法を選択し取り組んでいる。</li> <li>未知の状況にも対応できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で考えたことを、意見交換したり、議論したりすることで新たな考え方に気が付いたり、自分の考えをより妥当なものとしたりすることができる。</li> </ul>
学校教育目標					
現状	研究	テーマ	自己探究		
<p>&lt;生徒&gt;</p> <p>「努力すれば自分もたいいのことはできると思う」と考える生徒が89%であり、自己肯定感が高い。また、「学校でみんなと一緒に活動することは楽しい」と感じる生徒は94%であり、学校満足度は向上している。ただし、自分たちで問いを見だし問題解決する力はない。そのために探究学習に取り組む必要がある。</p> <p>&lt;授業&gt;</p> <p>それぞれの教員が、「生徒が主役になる授業」の具体を明確にし、めざす授業を研修の場で共有した結果「授業で考えることが面白い」と感じる生徒が約80%であり、授業が活性化している。生徒が思考を広げる授業を目指しているが、教員自身が生徒の意見を引き出し切れていないと感じていることが課題である。</p>	内容等	自ら考え学ぶ授業 ～総合的な学習の時間における探究学習による単元開発の実践を通して～			
	めざす授業の姿		<ul style="list-style-type: none"> <li>自ら問いを見出す場、考える場、深め合う場のある授業</li> <li>教師がファシリテーターとして機能している授業</li> <li>テキスト(教材)、仲間、自分との対話のある授業</li> </ul>		

IV 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立一ツ橋中学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	70% 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	70% 評価	達成 評価	総合 評価
4	自ら考え学ぶ 授業の推進	★	継 続	めざす授業の姿の 視点で ・自ら問いを見い だす場, 考える 場, 深め合う場 のある授業 ・教師がファシリ テーターとして機 能している授業 ・テキスト(教 材), 仲間, 自分 との対話のある授 業	・教員一人一人が 自ら考え学ぶ授業 の具体的なイメー ジし明確にし, 実 現する ・1人1台端末を 主体的な学びのた めに有効活用する	・生徒満足度アン ケート 80% ・教職員達成度ア ンケート 80% ・思考力, 判断 力, 表現力(選抜 Ⅱ参考)問題を工 夫した定期テスト で平均点 65 点以 上								
4	自己指導能力 を育む教育活 動の推進		継 続	めざす子供像の視 点で, ・総合的な学習の 時間 ・学校行事, 生徒 会活動  を企画・実施・評 価	・探究的な学習の 理論研修及び単元 計画作成 ・総合ポイント制 度, グッドナイス カード表彰活動を 実施 ・通級指導教室, ひまわり, を活用 した居場所づくり	・年間4回研修実 施, 1単元作成 ・みんなと一緒に 活動するのは楽し いと感じる生徒 90%以上 ・不登校生徒全校 生徒の 8.5%未満								
8	子ども主体 の健康・体 力づくりの 推進		継 続	・新体力テストの 結果向上(前年度 比) ・給食残食率の低 下	・体育の種目と関 連と項目の重点化 ・ロスノン運動の 実施	・新体力テストで 県平均以上の種目 60%以上 ・給食の残食率 7%以下								
2	能動的・革新 的な教育の質 の向上		継 続	・業務改善と焦点 化した教育活動の 質的向上	・働き方改革での 1人1台の有効活 用 ・定時退校日の確 実な実施 ・学校施設時間 18:30の実現	・教職員アンケー ト「仕事に充実感 を感じる」90%以 上 ・定時退校日実施 の確認 ・時間外勤務平均 45時間以内								

[プロセス評価の評価基準]		[達成評価の評価基準]		[総合評価の評価基準]		
評点	評価基準	評点	評価基準	評点	評価基準	
5	取組の目的に対する共通理解が顕著に認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が十分に図られた。	5	目標を大幅に達成し、十分な成果をあげた。	5	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた。
4	取組の目的に対する共通理解が認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決が概ね図られた。	4	目標を概ね達成し、望ましい成果をあげた。	4	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた。
3	取組の目的に対する共通理解が一定程度認められ、状況の変化、問題が生じた際は、協同的な課題解決がある程度図られた。	3	目標をある程度達成し、一定の成果をあげた。	3	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた。
2	取組の目的に対する共通理解が認められ難く、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決があまり図られなかった。	2	目標を下回り、成果よりも課題が多かった。	2	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった。
1	取組の目的に対する共通理解が認められず、状況の変化、問題が生じた際の協同的な課題解決が図られなかった。	1	目標を大きく下回り、成果が認められなかった。	1	40%未満の達成度	目標を達成できなかった。